

第 69 回新潟県保育事業研究大会

開 催 要 綱

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」

をめざして

開催趣旨

今回出された「こども大綱」の基本方針において、子どもや若者を権利の主体として認識し、その最善の利益を図ることが示されています。また、「こども大綱」が目指す、「こどもまんなか社会」とは、全ての子どもが幸福な生活を送ることができる社会であり、その実現に向けては、幼児期までこそが生涯にわたるウェルビーイング向上にとって最重要であるとされています。また、子どもの権利条約の精神にのっとり、子どもの視点を尊重し、その声を聴き、ともに考えながら、すべての人が幸福になる社会を目指す必要があります。

この社会の実現に向けて、深刻化した人材不足増加する業務量や保育者の負担等を解決し、専門職として質の高い保育を提供するため、保育者の処遇改善や働く環境及び地位の向上には、関係機関が一丸となって取り組むことが重要です。

保育者は、さまざまな保育に関わる制度動向や保育に求められる責務について常に意識し、認識を深め、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで、日々取り組みを充実させなければなりません。

加えて、養護と教育の実践の下にこれまで培ってきた保育の営みの大切さを、いまいちど広く社会へアピールする必要があります。

そのような保育をめぐる情勢をふまえ、すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現に向けた私たち保育者の姿勢を広く社会に発信できるよう、多様なテーマでの研究協議を深め、先駆的、効果的な実践を学びあうことにより、保育・子育て支援の拡充につなげ、保育実践の向上を目指すことを目的として本大会を開催します。

主 催

新潟県社会福祉協議会 新潟県保育連盟 新潟県私立保育園・認定こども園連盟
新潟県保育士会 新潟市私立保育協会

後 援 (予定)

新潟県、新潟県市長会、新潟県町村会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局
読売新聞新潟支局、BSN 新潟放送、NST 新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

期 日

令和 8 年 5 月 28 日 (木)

会 場

総会会場 新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール (新潟市中央区上所 2-2-2)
分科会会場 新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール・大会議室・大研修室・中研修室・特別会議室・団体交流室2

大会運営

- 1 大会は、式典、記念講演、分科会協議とする。
- 2 大会の企画、準備、運営及びこれらの処理にあたるために、実行委員会並びに大会役員を置く。
- 3 実行委員会委員並びに大会役員には、次の人があたる。
 - ① 新潟県社会福祉協議会常務理事
 - ② 新潟県保育連盟理事長、副理事長、常任理事、地区保育事業研究会会長
 - ③ 新潟県私立保育園・認定こども園連盟会長、副会長
 - ④ 新潟県保育士会会長、副会長
 - ⑤ 新潟市私立保育協会会長、副会長
 - ⑥ 開催地担当者代表
 - ⑦ 分科会司会者(大会処理関係のみ)

参加者

- 1 この大会の参加者は次のとおりとする。
 - ① 保育所・認定こども園等の施設長、保育士、保育教諭、調理員、栄養士、看護師等
 - ② 保育行政機関、保育士養成校の関係者
 - ③ 社会福祉協議会関係者
 - ④ 学識経験者
 - ⑤ その他保育事業関係者

日 程 令和 8 年 5 月 28 日(木)

【 総 会 】 新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール	
9:00～ 9:45	受 付
9:50～ 9:55	保育歌「花のおさなご」
10:00～10:25	開会式 ○式典 ○児童憲章朗読 ○主催者挨拶 ○祝辞
10:30～12:00	記念講演
12:05～13:05	昼食休憩
【 分科会 】 第1分科会～第6分科会各会場	
13:10～15:25	分科会協議
15:25～15:30	閉 会

記念講演

演 題 「やさしい日本語で、やさしい世界を」

講 師 一般社団法人やさしい日本語普及連絡会 代表理事 よしかい あきら 吉開 章氏



吉開 章（よしかい・あきら）

福岡県柳川市出身。2010年日本語教育能力検定合格。2016年やさしい日本語ツーリズム研究会を立ち上げ、代表として講演・メディア出演など势力的に活動中。著書に『入門・やさし日本語』（アスク出版）『ろうと手話』（筑摩選書）、映像作品にやさしい日本語ラップ「やさしいせかい」ショートムービー「第三者返答」などがある。2020年柳川観光大使委嘱。2023年4月勤務先の電通を退社し独立。

大会事務局

大会事務局は次に置くものとする。

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニソンプラザ3階 新潟県保育連盟 内
「第 69 回新潟県保育事業研究大会事務局」

電話：025-281-5539/FAX：025-281-5540

E-mail：niigata-u@ans.co.jp

会場案内

第 69 回新潟県保育事業研究大会 会場一覧

事 項	会 場	定 員
総 会	新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール 新潟市中央区上所 2-2-2	440 名
<p>< 第1分科会 > 組織力・チーム力向上のためのマネジメント ～施設内の環境づくり、人材確保と育成・定着、 施設長(管理者)の資質・変革等～</p>	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	80名
<p>< 第2分科会 > 子育て支援・多機能化 ～地域と連携した子育て、地域のニーズに 応える施設づくり～</p>	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室	80 名
<p>< 第3分科会 > 子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～保幼小、虐待対応、療育、地域等における連携～</p>	新潟ユニゾンプラザ 5階 中研修室	80名
<p>< 第4分科会 > 子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～保育のブラッシュアップ・充実した家庭支援、 食に関する支援を考える～</p>	新潟ユニゾンプラザ 5階 特別研修室	60名
<p>< 第5分科会 > 公立保育所・公立認定こども園等の特性を生かした 使命と地域社会での役割と発信</p>	新潟ユニゾンプラザ 2階 団体交流室 2	60名
<p>< 第6分科会 > フリー発表 保育所・認定こども園ならびに地域における 保育・子育て支援の実践</p>	新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール	80名

申込み人数により会場が変更する場合があります。

分科会

分科会は6分科会とし、それぞれのテーマ、研究方針、研究の視点は次のとおりとします。

〔第1分科会〕

組織力・チーム力向上のためのマネジメント

～施設内の環境づくり、人材確保と育成・定着、施設長(管理者)の資質・変革等～

〈助言者〉新潟県立大学 教授 角張慶子 氏

子どもや子育て家庭への多様な支援が保育所・認定こども園に求められるなか、安全・安心な保育の提供や保育の質を高めるため、組織マネジメントは、職員の働きやすさや、やりがいに直結し、組織力・チーム力を向上させるために欠かすことができないものです。

保育所・認定こども園等においては、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに、働き方改革、ICT化がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、園全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりをいっそう留意する必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の組織力・チーム力を向上させるマネジメントについて、施設長や現場の保育者等による様々な取り組みについて研究を深めます。

〔第2分科会〕

子育て支援・多機能化

～地域と連携した子育て、地域のニーズに応える施設づくり～

〈助言者〉新潟青陵大学 教授 藤瀬竜子 氏

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置付けられています。

令和6年度からは、地域子育て相談機関の設置が努力義務とされ、その役割が保育所・認定こども園に期待されています。地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者のもつ知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、多機能化等による地域のこども・子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

〔第3分科会〕

子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～保幼小、虐待対応、療育、地域等における連携～

〈助言者〉 新潟県立大学 教授 斎藤 裕 氏

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等と小学校、さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

令和5年2月には、文部科学省初等中等教育分科会の下で「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」がとりまとめられました。取りまとめにおいては、5歳児から小学校1年生までの2年間で「架け橋期」として、保幼小の関係者はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体など、子どもに関わるすべての関係者が立場を超えて連携・協働することが必要とされています。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

児童虐待予防、子どもの貧困に起因する課題への対応、病児・病後児保育、医療的ケア児の支援、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の各関係機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

〔第4分科会〕

子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～保育のブラッシュアップ・充実した家庭支援、食に関する支援を考える～

〈助言者〉 新潟青陵大学短期大学部 准教授 梨本竜子 氏

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が持つ発達する力を活かすことができるように支援し、子どもの育ちを保障することにあります。また、子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的にとらえて、その過程を支援することも必要です。

さらに、こども未来戦略の3つの基本理念においては、「社会全体の構造・意識を変える」ことが明記されており、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みが求められています。

すべての子どもたちの育ちを支える質の高い保育について、さまざまな観点から研究を深めます。

〔第5分科会〕

公立保育所・公立認定こども園等の特性を生かした使命と地域社会での役割と発信

〈助言者〉新潟中央短期大学 准教授 永井裕紀子 氏

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域格差がすすむことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を生かした具体的な実践のあり方などについて研究を深めます。

〔第6分科会〕

フリー発表

保育所・認定こども園ならびに地域における保育・子育て支援の実践

〈助言者〉新潟県立大学 教授 小池由佳 氏

保育・子育て支援に関する制度や施策に関する内容のなかで自由に設定してください。

【研究テーマ(例)】

●保育・子育て支援に関する制度や施策に関する研究

制度や施策に関する提案や課題提起、関係者間の情報提供のあり方など

●保育所・認定こども園等の運営に関する研究

リスクマネジメント、苦情解決、自己評価、第三者評価、人事管理、人材育成、災害や防災に関する取り組み

●保育・子育て支援に係る実践等に関する研究

子どもの発達、保護者支援、地域子育て支援、食育、保健衛生、病児・病後児への対応、児童虐待が疑われる事例への対応、「子どもの貧困」に対する取り組みなど

参加費・申込みについて

1. 参加費 1人 5,200円（負担金4,000円 + 昼食弁当1,200円(税込)）
大会当日総会会場受付にておつりのないようにお支払いください。
なお、受付は、新潟地区・中越地区・上越地区・県央地区・県北地区・佐渡地区と
地区別で受付をいたします。



2. 参加申し込みは下記申込サイトよりお申込みください。
▶ <https://business.form-mailer.jp/fms/4c7378e1327312>

▶ 申込み受付期間 令和8年3月12日(木) ～ 5月1日(金)

- 会場収容人数の都合上、参加希望が多い分科会は大会事務局で調整をさせていただきますので、第1希望・第2希望を必ず明記してください。調整となった方のみ直接ご連絡いたします。

3. 申込内容の変更・キャンセルについては、5月8日(金)までに大会事務局へファックスもしくはメールでご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、負担金 4,000 円をいただきます。

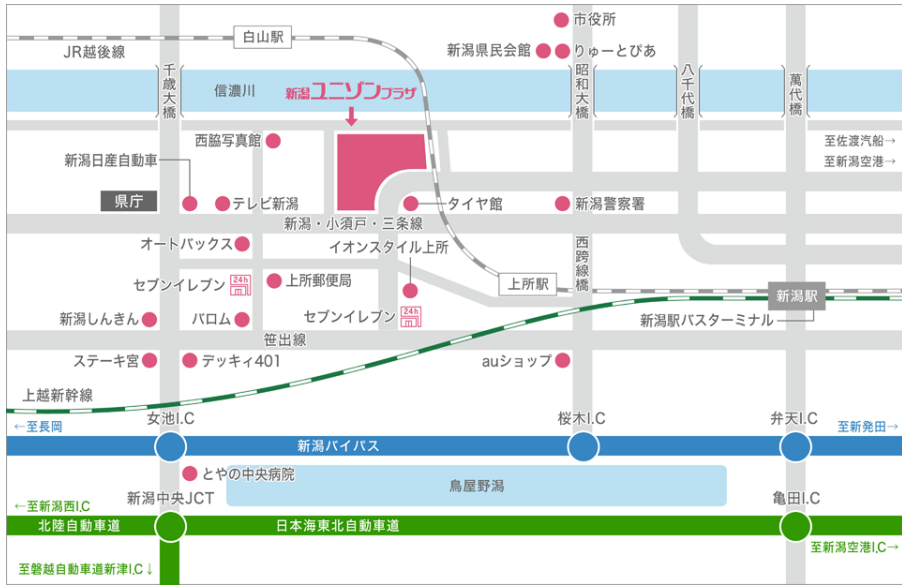
4. 留意事項

- 大会当日体調不良等により参加できなかった場合は、後日資料と参加費 5,200 円の請求書をお送りしますので、指定口座にお振込みをお願いします。
- 参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報、本研修会の運営・管理の目的に限って使用します。

第69回新潟県保育事業研究大会事務局

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県保育連盟 内
電話：025-281-5539 / FAX：025-281-5540
E-mail niigata-u@ans.co.jp

【新潟ユニゾンプラザアクセス】



【駐車場について】 収容台数 220 台



交通渋滞の原因となるため、緊急車両等を除き、終日左折入場とさせていただきます。
 信濃川右岸線県庁方面からは、右折入場はできません。矢印通りに進み、左折でのご入場をお願いいたします。

【JR 新潟駅からお越しの場合】

